

**令和6年度第1回テクノプラザものづくり支援センター  
(旧岐阜県科学技術振興センター) 指定管理評価員会議 結果概要**

○日時：令和6年7月11日（木） 10時00分～11時30分

○会場：テクノプラザものづくり支援センター第1会議室（各務原市テクノプラザ1-1）

1 評価の手順について

- ・ 県から評価手順について説明

2 令和5年度の指定管理業務の評価について

○評価方法

- ・ 指定管理者からの報告を受け、評価シートの項目に基づき評価員が採点。
- ・ 事務局にて集計し、平均点を算出。

○評価結果

評価項目	平均点
管理基準の充足状況	4.25
設置目的の達成状況	4.00
公共性の確保の状況	4.25
経営状況	4.25
派生的効果	3.75

○主な質疑応答・意見

【質疑応答】

<評価員> 図書の更新は怎么样了。

<指定管理者> JIS規格の更新要望が多く、現在も更新を続けており常に最新版を置いている。図書は4年度に213冊の新規購入をしている。5年度は購入をしていないが、6年度以降は毎年購入予定である。

<評価員> 会議室の利用に係る減免数が多いように感じるが例年に比べて多いのか。

<指定管理者> 例年に比べて減免数が多かった。施設設備の修繕に係る指定管理者と工事請負業者との打合せのために使用することがあったため、減免数が増加した。

<評価員> 65歳以上の高齢者はどんな業務を実施しているのか。

<指定管理者> 警備、清掃、設備維持業務を担当している。

<評価員>光熱水費はどこに計上されているか。また、近年のエネルギー高騰は収支に影響ないか。

<指定管理者>光熱水費は需用費として計上している。エネルギー高騰により支出が増えたが、高騰相当分については県からの補填があり、影響は最小限である。

<評価員>施設の周知がどのように県への経済波及効果を生み出すと考えているか。

<指定管理者>イベント等で来館したご家族の利用者が、数年後、世代が変わった後もイベント等で来館していただける、会議室等を利用していただけることに繋がることが後に経済効果と言えるものになると考える。

#### 【意見】

- ・ イベントは定員を超えた応募があり、ニーズが高いことが分かるが、抽選の結果落選した方へのケア等を意識しなければ、次年度以降の応募者数減少につながってしまうため対策が必要である。
- ・ 新規利用者を獲得するため、当施設を知らない方に知っていただく必要がある。各企業へメール等を利用した周知が必要。
- ・ 自然堆肥区画を設置し、庭園管理で排出された葉や草のリサイクルを実施しているのは良いが、貯めた堆肥はイベントで配布するなどして、施設の利用者増加につながる活用ができると良い。

#### 【講評】

- ・ 広報の実施方法に改善の余地があるが、全体的に適切な施設運営が行われていた。
- ・ 各年度の指摘事項は、次年度には反映されており、より良い施設管理を心がけていると感じた。施設を利用するうえで安全性の担保が重要になるが、適切な管理が行われているし、イベント等も開催して、集客のための努力が見受けられた。
- ・ 以前はイベントの応募者数が少なかったが、5年度は応募者が増加しているため、広報に力を入れていると感じた。一方、企業との連携が弱いと感じるため、アプローチが必要である。
- ・ 学校との連携を強めた方が良いと感じた。本施設は小、中学校で行われる社会見学等の行事に適した施設と言えるため、教育委員会とも連携することでより良い企画ができると思う。